

## 令和2年度 市政運営会議 議事概要

日時	令和2年9月30日（水）15:30～15:40
議題	令和3年度に向けた市政取組方針について
出席者	高島市長，光山副市長，中村副市長，荒瀬副市長， 総務企画局長，総務企画局行政部長，総務企画局企画調整部長， 総務企画局人事部長，財政局長，財政局財政部長
決定事項	○令和3年度に向けた市政取組方針について，別紙のとおりとする。
議事要旨	<p><b>【荒瀬副市長】</b></p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止にしっかりと取り組みながら，「新しい生活様式」の中で，安心して子どもを産み育てられる環境づくりや，教育環境の充実，安全・安心なまちづくり，生涯現役社会の実現など，あらゆる分野で「生活の質の向上」にしっかりと取り組んでいただきたい。</p> <p><b>【中村副市長】</b></p> <p>・ウィズコロナの時代，その後のポストコロナに対応した都心部の機能や魅力の向上に取り組んでいただくとともに，スタートアップをはじめ，新しい価値の創造にチャレンジする企業等をしっかりと後押しし，「都市の成長」につながる取組を進めていただきたい。</p> <p><b>【光山副市長】</b></p> <p>・新型コロナウイルス感染症をはじめとする社会経済情勢の変化や市民ニーズなど，柔軟に対応できる予算・組織編成にしっかりと取り組んでいただきたい。</p> <p>・現在の社会経済情勢や厳しい税収の見通しも踏まえ，既存事業の継続を前提とするのではなく，既存事業の廃止，更には組替えなどを積極的に行い，今回のコロナ禍を契機とした，徹底した事業の選択と集中に取り組んでいただきたい。</p>

**【高島市長】**

・新型コロナウイルス感染症は、第3次産業が9割という福岡市の産業構造において、市民生活だけではなく、地域経済にも非常に大きな影響を及ぼしている。

・市税等の大幅な減収が見込まれているが、市民生活を支えて、地域の経済活動をしっかりと後押しするとともに、ピンチをチャンスと捉えて、感染症に強く国際競争力がより高いまちづくりに積極的にチャレンジをして、「FUKUOKA NEXT」の取組みを着実に進めてほしい。